

農地強奪のための収用委員再任命を許すな

千葉県議会に再任命を拒否せよ!

**9.17 千葉市集会に
結集しよう!**

九月県議会における収用委員再任命を許すな

強制収用を司る県土地収用委員会が解体され一年が経とうとしている。だから強制収用による農地強奪、農民叩き出しを強行するためには、どうしてもこの解体されてしまった収用委員会を再建し、収用委員再任命を行わなければならない。

反対同盟を先頭とする空港反対闘争によって「遅れに遅れ」を強制させられている政府・公団は九〇年二期完成計画を断念し、新たな九二年方針を打ち出してきた。九二年完成という事は、遅くとも来年春までには強制収用をやらなければ間に合わないということ

であり、そのことは九月県議会において収用委員を再任命しなければならぬということである。政府自民党は、来年十一月に「即位の礼」と「大嘗祭」を国をあげて行うことを取り決め、新たな天皇大翼賛運動にうつて出ることを明らかにしている。だからこそ、三里塚二期強制収用をめぐる闘いが九〇年秋にずれこんで「反天皇闘争」と結びつくことに恐れを感じている。九月県議会における収用委員再任命という問題は、こうした政府にとって第一級の政治課題としておしあがっている。

農民追いつ出し攻撃が激化

総理府が行った調査でさえ国民の大半が三里塚の強制収用の非人間性、国家暴力性に対してNOの審判を下しているのである。だから、こそくにも政府は「話し合い」のポーズで世論をごまかし、「これだけ(政府・公団)が『誠

意』をもって話し合いを呼びかけているにもかかわらず、聞き入れてくれないので、やむなく強制収用」という体のいい仮象をつくりあげたいのだ。ところが、現在三里塚で行われていることは、「話し合い」とは言葉だけで、営農妨害、生活妨害の農民追いつ出し攻撃がし烈なまでに加えられてきている。公団総裁松井は公式の場で「できるギリギリの所まで工事を進め、反対農家の方にお見せすることが、ご理解いただくことにつながる」などという暴言をはき、

何ものでもありはしない。こうした重圧にも敗けないで敷地内農民は営農に励み、「二期穴あき工事」をにらみながら生活している。敷地内農民の決意は不動のものである。敷地内潜入の公団職員を摘発して「二度と来るな。今度会う時は、代執行の時だ」と、追い返している。この敷地内農民を何としても守りぬこう。九月県議会での収用委員再任命攻撃を絶対許してはならない。全力で反対同盟の呼びかける九・一七千葉市集会に結集しよう。

反対同盟、今秋五人方針を決定

- ① 千葉全県行動(県内主要都市の街頭行動を連続的にやりぬく)
- ② 沼田県知事に対する、収用委再任命・強制収用中止を要請する手紙を大衆的に送る運動
- ③ 全国キャンペーン
- ④ 代執行反対の十万人署名運動の達成
- ⑤ 十・二二全国集会の成功



千葉駅頭でピラを配り、署名・手紙運動への協力を呼びかける婦人行動隊・萩原静江さんと加藤秀子さん(8月21日)

〈全県行動日程〉

9/10	千葉	9/14	水戸津
9/21	松戸	9/25	銚子
9/28	千葉	10/2	市川
10/5	千葉	10/9	津田沼
10/12	千葉	(11月) 10日~15日	